

特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会
JAPAN TEAM OF YOUNG HUMAN POWER

知恵のある人は知恵を！

お金のある人はお金を！

行動力のある人は一緒に汗を！

「JHP・学校をつくる会」は、戦争や自然災害で教育の機会奪われた世界の子どもたちに、人種、国籍、宗教、その他の信条の違いにかかわらず広く教育等の援助を行い、また紛争や自然災害で被害を蒙った被災地・被災者への救援活動と、これらの活動を通じて次代を担う若者たちへの地球市民教育を実践することを目的とし、活動しています。

<国際協力事業>

* 海外事業

① カンボジアでの学校建設と教育環境の向上のための支援。(1993年9月～)

- ・カンボジア各州に132校舎を建設。(建設中、修理校を含む；2005年4月現在)
- ・カンボジア活動ボランティア班の派遣。設立当初から約700名を派遣。

建設工事の一部に参加する他、建設小学校の校庭にブランコ等の遊具を設置。

又、衛生教育推進のため、学校にトイレと井戸を設置する運動を進めている。

② カンボジアでの音楽教育への協力と音楽教師の育成。(1995年～)

- ・カンボジアの小学校への楽器贈呈。日本全国より寄贈された楽器を活用した音楽教師育成プロジェクトを展開。2000年度には教師が7名誕生。その後、教師育成の成果により66校の学校、師範学校で子どもたちへの授業を実施。

・CDPO(カンボジア障害者団体)、プノンペン幼稚園教師育成センター、師範学校などに楽器を贈呈している。

③ カンボジアでの美術、衛生教育の実施。(1999年4月～)

99年度は日本人美術教師、以後はカンボジア人教師によってプノンペンの小学校を中心に絵画、工作などの授業を実施。子どもたちの自由で豊かな表現力を育成。また、03年からは各地師範学校を中心に教師育成のワークショップを実施。又、掃除指導、トイレ指導などの衛生教育も実施している。99年より、アジアの子どもたちの絵を集めた絵画交流展他、日本の展覧会にも出品。カンボジアでは、毎年1月～4月にかけて、優秀作品を集めた展覧会をカンボジアで企画、実施している。

④ 定非営利活動法人 JEN に構成団体として参加協力。物資援助、人員(ボランティア)派遣に協力。

- ・現在までに95名のボランティアを旧ユーゴスラビアに派遣。98年9月コソボ難民緊急救援のために学生4名、12月に3名、99年3月に3名、00年に4名派遣。03年ボスニアでの家畜小屋建設に4名派遣。これらの救援活動を通じ日本人の顔の見える活動に貢献している。

- ⑤アフリカに毛布を贈る活動の広報活動および現地配布作業のための人員派遣。
- ・ 1996年12月にエチオピア、ガーナ、タンザニア派遣。98年1月にエチオピア派遣。99年1月に南アフリカに派遣。00年1月に2名をマラウイに派遣。同じく01年1月に2名をマラウイに派遣。02年10月、03年10月、04年10月に各2名ずつをエチオピアに派遣。
- ⑥海外の災害に対する緊急救援活動を実施。
- 01年1月26日に発生したインド西部地震救援活動にJENを通じて4名の学生を派遣。震源地近くの村のテント設置。

* 国内事業

- ① 日本国内の被災地、被害者への救援活動。
- ・ 阪神・淡路大震災の被災者支援（95年）日本海重油流出事故に回収ボランティア派遣（97年）。
 - ・ 近年、三宅島の支援団体と交流を深め、島民集会等でボランティア活動を行う。JHPチャリティーイベントにも島民を招待し交流を深める。全島費納解除がされてからは、三宅島でのボランティアも行っている。
 - ・ 04年7月に起こった新潟水害の被災地でもボランティア17名が活動。
 - ・ 04年10月末に起こった新潟県中越震災では、JEN・RKK（立正校成会）と協力し、計59名のボランティアを約1ヶ月半派遣。ボランティアセンターの運営や被災者宅の片付けや仮設住宅への引越しなどを行う。
- ② 支援物資（文房具・楽器等）の募集とその海外輸送。（1994年より開始）
- ・ 国内で楽器を集める運動を展開し、毎年1回程度、船便にてカンボジアに輸送している。97年から現在までに足踏みオルガン約350台、鍵盤ハーモニカ約500台、リコーダー約3000台、他を輸送している。
- ③ 個々の事業、イベントに必要なボランティアの受け入れと人材育成。
- ・ チャリティーイベントや、年間を通じての各種イベントのボランティアを受付。
- ④ 機関紙・刊行物等の発行や講演会の開催を通じた広報活動。一般市民への理解と支援の呼びかけ。
- ・ 会報（年3回）、活動記録（年1回）の作成、合宿（年2回）を企画している。
- ⑤ 作業を行うために必要な財源の確保（会費、募金、助成金等）
- ・ 会員は随時募集。年会費は学生1口3,000円、一般1口5,000円、特別会員1口50,000円以上。
 - ・ その他ご寄付につきましては随時受付けております。

⑥ 地雷廃絶日本キャンペーン (JCBL) に参加協力。

- ・対人地雷禁止のための署名運動に協力。その他国内啓発活動の協力を力を入れている地雷敷設地域を示す看板を印刷した T シャツを販売。この T シャツはカンボジアより取り寄せたもので、1枚 1,000 円で販売。この中から 20% (200 円) を JCBL の活動資金として寄付している。

平成 16 年度末までに 3,135 枚分 (約 627,000 円) を寄付している。

* 海外の主な協力団体

カンボジア王国教育省、プノンペン市、シアヌークビル市、タケオ市、コンポンチャム県教育局、他。

※当会は、1998 年 3 月にカンボジア王国教育省との間に NGO 契約書を結んでいる。当会学校建設のカウンターパートは教育相であり、様々なアドバイスを得ながら活動を進めている。建設学校の優先順位、建築業者の選択は現地駐在員によって適切に行われている。また、2001 年 12 月にはカンボジア王国政府と協定覚書 (MOU) を交している。

* 参加への手引き

1) カンボジアボランティア参加

- ①活動内容；学校建設の補助、ブランコの建設。現地の子どもとの交流。現地 NGO の見学。カンボジアの歴史を知るための見学。CCH (孤児院) 訪問。
- ②活動期間；基本的に年 2 回 (3、8 月)、約 1 ヶ月間。
- ③参加費用；学生 12 万円、社会人 19 万円。※変更の場合があります。
(ビザ、空港利用税、予防注射等は自己負担。海外保険は学生のみ JHP 負担)
- ④ 参加資格；健康で炎天下の作業に耐えられる体力のある者。18 歳以上 (高校生は不可)、性別は問わない。
JHP 会員であること。帰国後、海外ボランティア経験を生かして積極的に行動できる人。
- ⑤応募；希望者は随時事務局まで所定のエントリーシート (裏表 1 枚) を送付のこと。

2) その他の海外ボランティア参加 (原則的に上記カンボジア活動経験者を派遣)

- ①旧ユーゴ 3 国；JEN の活動の一環として要請により派遣。(JEN は 2004 年 7 月をもって旧ユーゴ諸国での活動を終了)
- ②アフリカ；毎年 1 回「アフリカへ毛布をおくる運動」へのボランティア派遣。
(毎年 1 回)

3) スタディーツアー

当会の活動を通じてカンボジアの現状を理解してもらうためのツアー（約1週間）を年2回（8月、12月）企画。

4) 東京事務所

- ①会報、活動記録集の作成、簡単な事務作業、翻訳、PR活動展開など随時ボランティアを募集しています。
- ②講演会、イベントの準備作業、当日の手伝い。
- ③月1回のマンスリーミーティング（第一土曜日 13:00～）

【特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会 概要】

- 1) 所在地；〒106-0032 東京都港区六本木 4-7-14 みなと NPO ハウス 1 F
- 2) TEL.03-5414-1774 FAX.03-5414-1776
- 3) E-mail/ホームページ tokyo-office@jhp.or.jp <http://www.jhp.or.jp>
- 4) 海外事務所；カンボジア（プノンペン）
- 5) 設立年月日；1993年9月（2000年11月；NPO法人設立、2004年1月1日；認定NPO法人設立）
- 6) 代表；小山内美江子（おさないみえこ）、
副代表；二谷英明（にたにひであき）、今川純子（いまがわすみこ）
- 7) 事業形態；学校建設の専門家・人材派遣（音楽教師、美術教師、ボランティア）物資援助、資金援助
- 8) 活動対象国；カンボジア、アフリカ、旧ユーゴスラビア3国、インド
（※過去の実績を含む）

* 特定非営利活動法人 JHP・学校をつくる会設立の経緯

1992年～93年にカンボジア・タイ国境にて、学生たちと共に実施したカンボジア帰還難民救援活動中に子どもたちの為の学校建設の必要性を強く実感し、93年9月に「カンボジアのこどもに学校をつくる会」を設立。97年4月より会費会員制に移行し、名称を「JHP・学校をつくる会」に改める。2000年10月に東京都より特定非営利活動法人（NPO法人）の認証を受け、11月に登記を完了。2004年1月1日に国税庁より認定NPO法人の認定を受けた。